

提言内容総括

no	学校名	発表テーマ	提言内容	事業担当課	評価※
1	光陽中学校	橿原市をより良くする取り組みの第一歩 (街灯、カーブミラーを増やす)	街灯を増やす (LED防犯灯設置補助金の情報を拡散、周知)	市民協働課	A
2			カーブミラーを増やす (自治会との連携、よびかけ)	建設管理課	A
3			シンボリックなイルミネーションを設置→関連イベントの実施	地域振興課	C
4	八木中学校	あそびがいっぱい！ぼくらのまち橿原	全天候型プール	スポーツ推進課	C
5			子ども向け公共交通機関の利便性向上 (バス無料デー)	都市計画課	C
6			子ども向け公共交通機関の利便性向上 (商業施設へのシャトルバス)		C
7			歴史と遊びが融合した公園 (歴史アスレチックパーク)	公園緑地景観課	B
8			空き家を活用した居場所づくり (子どもクラブハウス)	住宅政策課	C
9	畷傍中学校	人が集まりつながる街へ	学生が気軽に (話しながら) 利用しやすい図書館等の施設整備	図書館	C
10			こども食堂への助成金増額	こども政策課	C
11			こども食堂についてのSNSでの情報発信		A
12			こども食堂へのシャトルバス運行		C
13	聖心学園中等 教育学校	超・高齢化社会に挑む！ 橿原モデルの医療改革～財政との両立に向けて～	在宅診療、オンライン診療の環境整備	健康増進課	A
		森林療法を盛り込んだセラピーウォークプランの作成	A		
		かかりつけ医利用促進のための広報	A		
			診察券利用ポイントカードの作成	健康増進課・スポーツ推進課	C
14	橿原高校	橿原市の交通安全対策について	主要幹線道路に愛着がわくよう、名前を付け、整備、装飾を施す	建設管理課	A
15			成果報酬型アプリ開発 (無事故無違反の場合ポイント付与等)	都市計画課 人権政策課 (事務局)	C
16	橿原学院高校	「高校生の通学路からつなぐ“はじまりのまち”構想」 ～飛鳥・藤原の京都の歴史を日常に取り込み、橿原市の主要駅 と高校をバスでつなぐ～	市内各学校へ向かう、新路線バスの設置	都市計画課	C
17			停留所を歴史資源に沿って配置		A
18			市バス車内で「まなびパネル」設置		A

※評価内容

- A すぐ実現可能または実施中
- B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める
- C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる

提案内容評価検討シート

no	1	学校名	光陽中学校
提案	明るくて安全な街づくり		
概要	<p>1.カーブミラーの増設に向けた地域連携の促進: ○地元自治会関係者との意見調整、ポスター掲示等住民へ呼びかけ ○自治会が主体となって近隣住民と話し合い、危険な場所を共有。</p> <p>2.街灯の増設と明るい街づくり: ○LED防犯灯設置補助金の情報を周知 ○シンボリックなイルミネーションの設置</p>		
具体的に檀原市に実現してほしい内容 (小目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・カーブミラー、<u>街灯の増設に向けた啓発用ポスターの作成、広報</u> ・自治会等への情報共有の呼びかけ、意見調整 ・新たなイルミネーションの設置 		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	市民協働課	
	提案評価	A	<p>A すぐに実現可能または実施中</p> <p>B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める</p> <p>C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる</p>
	評価の理由	<p>校区内の防犯灯の場所や位置、実際に明るさを現地で確認するなど、とても熱心に調査していただきありがとうございました。資料もとてもわかりやすくよくできていました。</p> <p>LED防犯灯設置補助金は、自治会単位（曲川町1、東坊城町万田など）で要望や補助金申請を行っていただき、随時設置し補助金交付を実施しております（※参考別紙）ので、すでに実施中で「A」評価としています。</p>	
	実現に向けた具体的な実施方針	<p>LED防犯灯設置補助金は、個人ではなく自治会からの申請を受けて交付しております。学生のみなさんが日頃使用している通学路や町内の道路が暗くて危ないと感じた時は、まずは学校や、市民協働課を通じて自治会に相談してください。市は広報かしはらに啓発記事を掲載したり、自治会の方が集まる各地区公民館へ周知ポスターを掲示するなどして、情報発信していきます。また、令和8年度も継続して補助金交付事業を実施する方針です。</p>	

No 1 別紙



提案内容評価検討シート

no	2	学校名	光陽中学校
提案	明るくて安全な街づくり		
概要	<p>1.カーブミラーの増設に向けた地域連携の促進:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元自治会関係者との意見調整、ポスター掲示等住民へ呼びかけ ○自治会が主体となって近隣住民と話し合い、危険な場所を共有。 <p>2.街灯の増設と明るい街づくり:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○LED防犯灯設置補助金の情報を周知 ○シンボリックなイルミネーションの設置 		
具体的に檀原市に実現してほしい内容 (小目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・カーブミラー、街灯の増設に向けた啓発用ポスターの作成、広報 ・自治会等への情報共有の呼びかけ、意見調整 ・新たなイルミネーションの設置 		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	建設管理課	
	提案評価	A	<p>A すぐ実現可能または実施中</p> <p>B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める</p> <p>C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる</p>
	評価の理由	建設管理課において、自治会等の要望により、現地確認・立会をして毎年約30か所のカーブミラーの設置を実施しています。(※参考別紙)	
	実現に向けた具体的な実施方針	<p>通学に際して危険な箇所の報告について</p> <p>①中学校から教育委員会に報告 ②自治会から要望 ③中学校から建設管理課に報告のパターンがあります。報告や要望をいただきましたら関係者で現地確認・立会をして設置について協議を行っています。</p>	

No 2 別紙



提案内容評価検討シート

no	3	学校名	光陽中学校
提案	明るくて安全な街づくり		
概要	<p>1.カーブミラーの増設に向けた地域連携の促進: ○地元自治会関係者との意見調整、ポスター掲示等住民へ呼びかけ ○自治会が主体となって近隣住民と話し合い、危険な場所を共有。</p> <p>2.街灯の増設と明るい街づくり: ○LED防犯灯設置補助金の情報を周知 ○シンボリックなイルミネーションの設置</p>		
具体的に檀原市に実現してほしい内容 (小目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・カーブミラー、街灯の増設に向けた啓発用ポスターの作成、広報 ・自治会等への情報共有の呼びかけ、意見調整 ・新たなイルミネーションの設置 		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	地域振興課、人権政策課（事務局）	
	提案評価	C	<p>A すぐに実現可能または実施中</p> <p>B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める</p> <p>C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる</p>
	評価の理由	<p>現在、市内で行われているイルミネーションに近鉄大和八木駅南側及びJR畷傍駅前のイルミネーションがあります。</p> <p>これは、檀原商工会議所青年部、（一社）檀原市観光協会、檀原市等で構成されるイルミネーション実行委員会が主催で実施しているため、イルミネーション実行委員会で協議が必要となります。</p>	
	実現に向けた具体的な実施方針	<p>多くの方が往来する駅前にイルミネーションを設置することで、檀原市の冬を代表するイベントとして大和八木駅周辺のにぎわいを創出するとともに、防犯の一役を担っていると考えています。</p> <p>近鉄大和八木駅前のイルミネーションは令和7年度で20年目を迎え、この20年の間に様々なイルミネーションの取り組みをしてきました。</p> <p>ツリーイルミネーションをメインにハート型のオブジェの撮影スポット設置や街路樹への電球装飾、昨年度からJR畷傍駅前においてもイルミネーションを実施しています。</p> <p>また、光のトンネルイルミネーションには市内小学6年生の願いを書いた絵馬を飾ったり、カウンタダウン点灯セレモニーでは市内小学校のプラスバンドクラブによる演奏や点灯キッズの募集を行うなど、学生がご参加いただけるイベントとして取り組んでいます。</p> <p>このように、毎年皆さまに喜んでいただけるイルミネーションとなるよう工夫を凝らして実施していますが、例年同様の意匠となってきたため、どうすれば中高生の皆さんがイルミネーションを見に来てみたいと思うか、どのような写真スポットがあれば撮影したくなるか、またSNS等で発信したくなるか、等の具体的なお意見をいただき、次年度以降のイルミネーションに反映していただけるように、イルミネーション実行委員会とも協議をしていきます。</p>	

提案内容評価検討シート

no	4	学校名	八木中学校
提案	あそびがいっぱい！ぼくらのまち檀原 歴史もプールもぜんぶ冒険！		
概要	<p>1.全天候型プール: ウォータースライダー、流れるプール、温水プールなどを備えた屋内プールを作る</p> <p>2.空き家を「子どもクラブハウス」へ: 空き家をリノベーションし、ゲーム、読書、勉強、カフェなどが一体となった学生の居場所を創出。地域交流のコミュニティスペースとしての役割や観光客が泊まる宿泊施設としても活用。</p> <p>3.歴史アスレチックパーク: 古墳や城をイメージした大型遊具（古墳スライダー、勾玉シーソーなど）を設置し、遊びながら歴史を学べる公園を作る。夜間はライトアップで幻想的な空間を提供し、新たな観光資源としても活用。</p> <p>4.子供向け公共交通機関の利便性向上: 子供バス無料デー（月1回）の導入や、プール・アスレチックパークへの「遊び場直通シャトル」を運行。</p>		
具体的に檀原市に実現してほしい内容 (小目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内レジャープール ・空き家リノベーション、コミュニティスペースとして活用。 ・歴史文化をモチーフとしたアスレチックパーク作成 ・子どものバス料金無料デー ・商業施設への直通シャトルバス導入 		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	スポーツ推進課	
	提案評価	C	<p>A すぐに実現可能または実施中</p> <p>B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める</p> <p>C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる</p>
	評価の理由	<p>少子高齢化の進展により、現在休止している総合プール（レジャープール）の利用者数は減少を続け、利用料収入も大きく減少し、プール運営が非常に厳しいものとなっています。</p> <p>また、檀原市の近隣には、県営の競泳プール、レジャープールが立地し、市内には民間の屋内プールが複数ある中、檀原市の厳しい財政状況を鑑みると、屋内レジャープールの新たな整備は困難です。</p>	
	実現に向けた具体的な実施方針	<p>全国的に少子高齢化の進展による人口減少社会が到来し、社会情勢が急激に変化している中、檀原市においても人口の減少が予想されており、これに伴う税収の減少や社会福祉関連経費の増加が見込まれています。そのため、スポーツ施設をはじめとする公共施設についても、限られた財源の中で効果的・効率的な維持保全や運営を行うことが求められます。</p> <p>檀原市では、スポーツ施設の安全性・持続性を確保するための「檀原市スポーツ施設計画」を令和4年3月に策定しており、本計画に基づく整備、保全等の実施により、スポーツ施設における効果的・効率的な行政サービスを将来にわたり継続的に提供していきます。</p> <p>また、学校プールの集約化として学校プール運営にかかる費用や労力の縮減を図るため、休止となっている総合プールの親水機能を継承し、季節・天気を問わず利用できる屋内プールを檀原運動公園の拡張用地に新たに整備する予定です。</p> <p>大規模なレジャープールとしての整備は難しいかもしれませんが、今後も皆さんが楽しめるような機能を盛り込む等、検討を続けます。</p>	

提案内容評価検討シート

no	5	学校名	八木中学校
提案	あそびがいっぱい！ぼくらのまち檀原 歴史もプールもぜんぶ冒険！		
概要	<p>1.全天候型プール: ウォータースライダー、流れるプール、温水プールなどを備えた屋内プールを作る</p> <p>2.空き家を「子どもクラブハウス」へ: 空き家をリノベーションし、ゲーム、読書、勉強、カフェなどが一体となった学生の居場所を創出。地域交流のコミュニティスペースとしての役割や観光客が泊まる宿泊施設としても活用。</p> <p>3.歴史アスレチックパーク: 古墳や城をイメージした大型遊具（古墳スライダー、勾玉シーソーなど）を設置し、遊びながら歴史を学べる公園を作る。夜間はライトアップで幻想的な空間を提供し、新たな観光資源としても活用。</p> <p>4.子供向け公共交通機関の利便性向上: 子供バス無料デー（月1回）の導入や、プール・アスレチックパークへの「遊び場直通シャトル」を運行。</p>		
具体的に檀原市に実現してほしい内容 (小目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内レジャープール ・空き家リノベーション、コミュニティスペースとして活用。 ・歴史文化をモチーフとしたアスレチックパーク作成 ・子どものバス料金無料デー ・商業施設への直通シャトルバス導入 		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	都市計画課	
	提案評価	C	<p>A すぐに実現可能または実施中</p> <p>B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める</p> <p>C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる</p>
	評価の理由	大変ユニークな提案をありがとうございます。バスは子どもだけでなく皆が利用する公共交通であり、大勢の人に乘ってもらう必要がありますが、そのために実施する取組の一環としてバス料金無料デーは効果があるかもしれません。	
	実現に向けた具体的な実施方針	・バス無料デーによる効果がどの程度見込めるか、支出する費用に見合う効果が得られるかなどを検討する必要があります。	

提案内容評価検討シート

no	6	学校名	八木中学校
提案	あそびがいっぱい！ぼくらのまち檀原 歴史もプールもぜんぶ冒険！		
概要	<p>1.全天候型プール: ウォータースライダー、流れるプール、温水プールなどを備えた屋内プールを作る</p> <p>2.空き家を「子どもクラブハウス」へ: 空き家をリノベーションし、ゲーム、読書、勉強、カフェなどが一体となった学生の居場所を創出。地域交流のコミュニティスペースとしての役割や観光客が泊まる宿泊施設としても活用。</p> <p>3.歴史アスレチックパーク: 古墳や城をイメージした大型遊具（古墳スライダー、勾玉シーソーなど）を設置し、遊びながら歴史を学べる公園を作る。夜間はライトアップで幻想的な空間を提供し、新たな観光資源としても活用。</p> <p>4.子供向け公共交通機関の利便性向上: 子供バス無料デー（月1回）の導入や、プール・アスレチックパークへの「遊び場直通シャトル」を運行。</p>		
具体的に檀原市に実現してほしい内容 (小目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内レジャープール ・空き家リノベーション、コミュニティスペースとして活用。 ・歴史文化をモチーフとしたアスレチックパーク作成 ・子どものバス料金無料デー ・商業施設への直通シャトルバス導入 		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	都市計画課	
	提案評価	C	<p>A すぐに実現可能または実施中</p> <p>B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める</p> <p>C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる</p>
	評価の理由	<p>・商業施設への直通シャトルバスは、集客によって収益が見込まれる商業施設が費用を負担して運行することが一般的です。</p> <p>・直通シャトルバスではありませんが、檀原市内にも商業施設が費用負担しているバス路線があります。大和八木駅とイオンモール檀原とを往復する路線バスは、奈良交通が運行していますが、その運行によって集客、収益が見込まれるイオンが運行費用の一部を負担しています。</p>	
	実現に向けた具体的な実施方針	<p>市としては、利用しやすい路線への見直しや、市民に利用してもらえようような取組をしていくことで可能な限り路線を維持していきたいと考えています。また、路線維持のため、市民の方に興味を持ってもらえるよう、これからも取り組みを進めていきます。</p>	

提案内容評価検討シート

no	7	学校名	八木中学校
提案	あそびがいっぱい！ぼくらのまち檀原 歴史もプールもぜんぶ冒険！		
概要	<p>1.全天候型プール: ウォータースライダー、流れるプール、温水プールなどを備えた屋内プールを作る</p> <p>2.空き家を「子どもクラブハウス」へ: 空き家をリノベーションし、ゲーム、読書、勉強、カフェなどが一体となった学生の居場所を創出。地域交流のコミュニティスペースとしての役割や観光客が泊まる宿泊施設としても活用。</p> <p>3.歴史アスレチックパーク: 古墳や城をイメージした大型遊具（古墳スライダー、勾玉シーソーなど）を設置し、遊びながら歴史を学べる公園を作る。夜間はライトアップで幻想的な空間を提供し、新たな観光資源としても活用。</p> <p>4.子供向け公共交通機関の利便性向上: 子供バス無料デー（月1回）の導入や、プール・アスレチックパークへの「遊び場直通シャトル」を運行。</p>		
具体的に檀原市に実現してほしい内容 (小目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内レジャープール ・空き家リノベーション、コミュニティスペースとして活用。 ・歴史文化をモチーフとしたアスレチックパーク作成 ・子どものバス料金無料デー ・商業施設への直通シャトルバス導入 		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	公園緑地景観課	
	提案評価	B	<p>A すぐに実現可能または実施中</p> <p>B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める</p> <p>C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる</p>
	評価の理由	<p>新沢千塚古墳群公園や植山古墳公園など、古墳を活用した公園はありますが、古墳や古代の装飾品などをイメージした大型遊具はありません。このような遊具があれば子ども達が歴史にふれるきっかけの一つとなると思うので、興味深い提案です。</p>	
	実現に向けた具体的な実施方針	<p>檀原市では、公園の老朽化した遊具を新しいものに更新する長寿命化事業に取り組んでいます。新しくする遊具の種類は地元自治会などと話し合った上で決定していますが、公園の環境によってはこのような提案を基に設置することもできると思います。</p>	

No 7 別紙

新沢千塚古墳群公園



提案内容評価検討シート

no	8	学校名	八木中学校
提案	あそびがいっぱい！ぼくらのまち檀原 歴史もプールもぜんぶ冒険！		
概要	<p>1.全天候型プール: ウォータースライダー、流れるプール、温水プールなどを備えた屋内プールを作る</p> <p>2.空き家を「子どもクラブハウス」へ: 空き家をリノベーションし、ゲーム、読書、勉強、カフェなどが一体となった学生の居場所を創出。地域交流のコミュニティスペースとしての役割や観光客が泊まる宿泊施設としても活用。</p> <p>3.歴史アスレチックパーク: 古墳や城をイメージした大型遊具（古墳スライダー、勾玉シーソーなど）を設置し、遊びながら歴史を学べる公園を作る。夜間はライトアップで幻想的な空間を提供し、新たな観光資源としても活用。</p> <p>4.子供向け公共交通機関の利便性向上: 子供バス無料デー（月1回）の導入や、プール・アスレチックパークへの「遊び場直通シャトル」を運行。</p>		
具体的に檀原市に実現してほしい内容 (小目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内レジャープール ・空き家リノベーション、コミュニティスペースとして活用。 ・歴史文化をモチーフとしたアスレチックパーク作成 ・子どものバス料金無料デー ・商業施設への直通シャトルバス導入 		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	住宅政策課	
	提案評価	C	<p>A すぐに実現可能または実施中</p> <p>B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める</p> <p>C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる</p>
	評価の理由	<p>空家等を活用することは地域コミュニティの向上につながる重要な取り組みです。しかし、空き家の権利は所有者にあるので、空き家の利活用については市が主体となって実施することができません。そこで、市としては、条件はあるものの、地域の活性化を目的とした交流拠点として空き家を活用する事業に対し、「補助金」を交付しています。</p>	
	実現に向けた具体的な実施方針	<p>空家所有者等からの利活用の相談があった際に交流スペース等の設置についての打診をしたり、所有者や地元自治会のご協力を伺うなどする展開も必要かと考えます。また、補助金制度の周知を更に徹底し、利用促進を狙います。</p>	

提案内容評価検討シート

no	9	学校名	畝傍中学校
提案	人が集まりつながる楽しい街へ		
概要	<p>1.図書館の活用と「学生の居場所」創出: ○既存の図書館や自習スペース以外に、友達と気軽に話しながら勉強できたり、グループワークに使えるような家、学校、塾以外の「学生の居場所」となる施設を作る。</p> <p>2.子ども食堂のさらなる充実と地域交流の促進: ○具体的な活性化策: 市のイベント収入を財源とし、子ども食堂への助成金を充実させる。 SNSでの情報発信強化や、家と子ども食堂をつなぐ送迎バスの運行</p>		
具体的に橿原市に実現してほしい内容 (小目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで使用可能な「話せる」自習室提供 ・子ども食堂への助成金増額（イベント収入の財源化） ・SNSでの情報発信 ・子ども食堂へのシャトルバス運行 		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	図書館	
	提案評価	C	<p>A すぐに実現可能または実施中</p> <p>B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める</p> <p>C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる</p>
	評価の理由	<p>図書館の閲覧席がそもそも少なく、スペースの関係でその拡大も難しい状況にある中、図書館内に自習室をつくることは難しい状況です。また、図書館以外の自習室についても大変多くの方にご利用いただくなどニーズが高いと認識していますが、現時点では、他の公共施設においても新たな自習室を作ることは難しい状況です。</p>	
	実現に向けた具体的な実施方針	<p>万葉ホールの個別計画による大規模改修時や、将来において図書館を建替える計画時には新しいニーズを考慮したいと考えております。様々な可能性を排除せず、図書館並びに自習室の充実は、まちづくりを支える重要な公共機能の1つとしての考えのもと、今後も検討を進め、実施可能なものについては積極的に取り組んでいきたいと思っております。</p>	

提案内容評価検討シート

no	10	学校名	畝傍中学校
提案	人が集まりつながる楽しい街へ		
概要	<p>1.図書館の活用と「学生の居場所」創出: ○既存の図書館や自習スペース以外に、友達と気軽に話しながら勉強できたり、グループワークに使えるような家、学校、塾以外の「学生の居場所」となる施設を作る。</p> <p>2.子ども食堂のさらなる充実と地域交流の促進: ○具体的な活性化策: 市のイベント収入を財源とし、子ども食堂への助成金を充実させる。 SNSでの情報発信強化や、家と子ども食堂をつなぐ送迎バスの運行</p>		
具体的に檀原市に実現してほしい内容 (小目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで使用可能な「話せる」自習室提供 ・子ども食堂への助成金増額（イベント収入の財源化） ・SNSでの情報発信 ・子ども食堂へのシャトルバス運行 		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	こども政策課	
	提案評価	C	<p>A すぐに実現可能または実施中</p> <p>B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める</p> <p>C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる</p>
	評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金を増額するためには、市への歳入を増やす必要があります。しかし、当課単独でイベントを実施することが難しいため、関係機関と慎重な協議を重ねる必要があります。イベント以外の方法で歳入を増やすということであれば検討可能と考えます。 ・当課で実施している常設フードボックス（4か所）で集まった食品を、こども食堂に提供することで、経費削減につなげることは検討可能と考えます。 	
	実現に向けた具体的な実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・国からの補助金等、市の歳入を増やしていけるよう検討します。 ・常設フードボックスの設置箇所を増やすよう検討します。 	

提案内容評価検討シート

no	11	学校名	畝傍中学校
提案	人が集まりつながる楽しい街へ		
概要	<p>1.図書館の活用と「学生の居場所」創出: ○既存の図書館や自習スペース以外に、友達と気軽に話しながら勉強できたり、グループワークに使えるような家、学校、塾以外の「学生の居場所」となる施設を作る。</p> <p>2.子ども食堂のさらなる充実と地域交流の促進: ○具体的な活性化策: 市のイベント収入を財源とし、子ども食堂への助成金を充実させる。 SNSでの情報発信強化や、家と子ども食堂をつなぐ送迎バスの運行</p>		
具体的に檀原市に実現してほしい内容 (小目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで使用可能な「話せる」自習室提供 ・子ども食堂の助成金増額 (イベント収入の財源化) ・SNSでの情報発信 ・子ども食堂へのシャトルバス運行 		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	こども政策課	
	提案評価	A	<p>A すぐに実現可能または実施中</p> <p>B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める</p> <p>C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる</p>
	評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂運営者から「こども食堂へ行く子どもは貧困と思われる」というイメージを持つ人が多く、人が集まらないといった声があった。また、運営が軌道に乗るまでの周知が課題との声もあった。そのため、こども食堂のイメージを変えるために市職員が食堂開催日に取材に行き、こども食堂の楽しそうな様子を市HPで写真とコメントで紹介しています。(※参考別紙) ・こども食堂によっては、公共施設へポスター掲示を希望されることもあるため、周知に関しては各こども食堂を交えて検討予定です。 	
	実現に向けた具体的な実施方針	<p>こども食堂によってはキャパの問題もあり、周知不要と考えているところもあるため、SNSでの食堂開催日の配信についてはR8年度の「こども食堂交流会」での議題にあげ、各こども食堂の考えを聴き、検討していく予定です。</p>	

活動紹介@大和八木こども食堂

7/22に内膳町のすみれホールで開催された大和八木こども食堂に、市職員がお邪魔してきました。

本日は、20人以上のボランティアさんがお手伝いに参加され、100食分以上のカレーを準備されていました。参加するのに予約はいらないので、沢山来られても大丈夫なように多めに準備されています。

大和八木こども食堂は会食形式なので、会場には配膳場所と食事をするテーブルなどが準備されていました。



手書きの案内がとてもかわいい♪
予約不要ですが、受付でお名前をお聞きします。



受付をしたら、配膳場所へ。
ボランティアさんが待っていてくれます♪



大容量の鍋に一杯のカレーやサラダ。
前日から仕込んでくれています!!!

メニューはひき肉のカレー、万願寺とうがらしとツナのサラダ、チキンナゲット。お米、じゃがいも、玉ねぎ、万願寺とうがらしは地元の方などからの頂き物です。地域のつながりを感じました。



参加者だけでなく、ボランティアの方々も、交代で同じ場所で『いただきます!!!』



みんな、美味しそうにカレーを頂いていました。
色々な世代の方々が、同じ場所でワイワイと食事をするような機会はなかなかないので、とても楽しそう♪
子ども達もここに来ればお友達に会えるので、ロビーで集まって楽しそうに遊んでいます。
ボランティアの方々にとっても大切な交流の場となっているそうです。

提案内容評価検討シート

no	12	学校名	畝傍中学校
提案	人が集まりつながる楽しい街へ		
概要	<p>1.図書館の活用と「学生の居場所」創出: ○既存の図書館や自習スペース以外に、友達と気軽に話しながら勉強できたり、グループワークに使えるような家、学校、塾以外の「学生の居場所」となる施設を作る。</p> <p>2.子ども食堂のさらなる充実と地域交流の促進: ○具体的な活性化策: 市のイベント収入を財源とし、子ども食堂への助成金を充実させる。 SNSでの情報発信強化や、家と子ども食堂をつなぐ送迎バスの運行</p>		
具体的に檀原市に実現してほしい内容 (小目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで使用可能な「話せる」自習室提供 ・子ども食堂への助成金増額（イベント収入の財源化） ・SNSでの情報発信 ・子ども食堂へのシャトルバス運行 		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	こども政策課	
	提案評価	C	<p>A すぐ実現可能または実施中</p> <p>B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める</p> <p>C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる</p>
	評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・シャトルバスの運行を行うためには、相当な費用がかかります。市の予算には限りがあるため、どれだけの人数が利用するのか等、費用対効果を考えると難しいと考える。 ・費用面以外にも誰が乗るのか、どこで降ろすのか、バスで何かあったらどうするのか、保護者と連絡はとれるのか等様々な運用面での課題が考えられるため、現状では実現困難と考えています。 	
	実現に向けた具体的な実施方針	<p>県、市ともに「こども食堂を小学校区に1つ設置する」ことを目標としているので、バスを使わなくても子どもが歩いて行ける距離にこども食堂がある町を目指し、開設の支援に引き続き取り組んでいきます。</p>	

提案内容評価検討シート

no	13	学校名	聖心学園中等教育学校
提案	超・高齢化社会に挑む！ 榎原モデルの医療改革～財政との両立に向けて～		
概要	<p>1.暮らしと自然にやさしい医療環境</p> <p>○通院が難しい高齢者も自宅やオンラインで安心して診療を受けられる在宅診療・オンライン診療の体制整備。</p> <p>○自然の恵みを生かした森林療法の導入: 榎原市オリジナルの榎原神宮でのセラピーウォークや自然茶ブレイク等、森林療法と絡めたプラン作成</p> <p>2.“いい医療”を長く使えるしくみ</p> <p>○かかりつけ医への誘導: 高齢患者が初めから大病院を受診してしまう現状に対し、まずは地域のかかりつけ医へという意識を広める。SNSでの情報発信やポスター作成ほか、どこの病院に行けばいいか分からないという悩みを解消する「かかりつけ医候補チラシ」を配布。</p> <p>○「かかりつけ診察券」地域共通ポイントカードの導入: 健康相談や通院でポイントが貯まり、地元のお店で使えるようにすることで、定期的な健康診断を促し、病気の重症化を防ぐ仕組みを構築する。</p>		
具体的に榎原市に実現してほしい内容 (小目標)	<p>①在宅・オンライン診療の環境整備</p> <p>②森林療法を盛り込んだセラピーウォークプランの作成</p> <p>③かかりつけ医利用促進のための広報 (学生作成のチラシ、ポスターの掲示?)</p> <p>④診察券利用ポイントカードの作成。</p>		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	健康増進課(①②③④)、スポーツ推進課(④)	
	提案評価	①,②,③ A ④ C	A すぐ実現可能または実施中 B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる
	評価の理由	<p>①在宅・オンライン診療の環境整備について、当市は高齢者の移動可能範囲内に医療機関が十分に存在しており、その中に在宅診療が可能な医療機関も多数ある状況であるため、高齢者の受診環境は十分に整備されていると考えています。</p> <p>②セラピーウォークについて、当市では様々な担当課において市民の健康増進やリフレッシュを目的として市内の環境(森林・史跡等)を活かしたウォーキングコースの提案やウォーキングイベントを既に実施しています。(※参考別紙)</p> <p>③かかりつけ医を持つことの市民への意識醸成については、広報等にて全世代の住民に対して従前から啓発を継続しています。</p> <p>④診察券利用ポイントカードについては、通院でポイントが貯まると過剰受診に繋がるリスクがあり、ポイント付与の内容には注意が必要と思われます。運動や健診等でポイントが貯まる「健康ポイント」としての提案とした場合、健康ポイントは、以前他課(保険医療課(当時))にて導入した時期がありますが、利用拡大につながらず、現在は導入していません。今後もより良い方法については検討を続けて参ります。</p>	
実現に向けた具体的な実施方針	市の環境(森林・史跡・公園など)を活用した健康増進関連事業の展開、持続可能な医療体制のためのかかりつけ医の啓発は重要な視点と当市も捉えており、取り組みを進めているところです。今後も引き続き取り組みを推進していきます。		

健康増進課 (☎ 22-8331) / **9月9日は救急の日!!** 救急車の適正利用にご協力ください

近年、軽いけがや緊急性のない安易な救急要請が増加しています。権原・高市地区二次救急医療体制でR6年度に救急搬送された患者1,897人のうち60%が診療後「帰宅」となっており、軽症の方が少なからず含まれていると推察されます。「かかりつけ医」をもって早めに受診するなど、1人1人の協力が必要です。

搬送された患者の経過(人数)

半数以上が「帰宅」

年度	帰宅	入院	転送	死亡	その他
R3年度	~1000	~500	~50	~50	~50
R4年度	~1200	~400	~50	~50	~50
R5年度	~1500	~300	~50	~50	~50
R6年度	~1800	~200	~50	~50	~50

● 帰宅 ● 入院 ● 転送 ● 死亡 ● その他

奈良県救急安心センター相談ダイヤル ※通話料が必要です。
7119 (プッシュ回線)
 「救急車を呼んだ方がいいのかな?」「近くの医療機関はどこ?」など困ったときに、相談員や看護師が電話でアドバイスします(無料)。
 ☎ # 7119 (ダイヤル回線・IP電話からは ☎ 20-0119)
 受付 24時間 365日

子ども救急電話相談 ※通話料が必要です。
8000 (プッシュ回線)
 子どもの急病時に「受診した方がいいのかな?」など判断が難しいときに看護師(必要に応じて小児科医)が電話でアドバイスします(無料)。
 ☎ 15歳未満の子ども
 ☎ # 8000 (ダイヤル回線・IP電話からは ☎ 0742-20-8119)
 受付 平日: 18時~翌8時、(出: 13時~翌8時、
 (日・祝・年末年始(12/29~1/3): 8時~翌8時

権原市休日夜間応急診療所 (保健センター北館 1階 ☎ 22-9683)

	診療日	診療科目	診療時間	持ち物
休日	日・祝・8/15・12/29~1/3	内科・小児科	10時~12時・13時~21時30分	①マイナ保険証(有効期限内の保険証または資格確認書でも可) ②医療資格証(お持ちの方) ③現金(支払いは現金のみ)
		歯科	10時~12時・13時~16時	
夜間	毎日	内科	21時30分~24時	
		小児科	21時30分~翌6時	

7 広瀬川から R7.9 月号

徒歩約1時間30分 8000歩 3.5kmのコース
 ①神宮東口→(5分) ②丈六→(15分)
 ③春日神社④法輪寺→(25分) ⑤本明寺→(5分) ⑥石川池→(10分) ⑦大蔵神社→(10分) ⑧和田庵寺→(20分) ⑨神宮東口

権原東エリア ~石川池周辺を歩く~ マップウォーキング

池の底に剣が埋まっている言い伝えから「剣池」と呼ばれている。孝元天皇陵や多武峰を背景とした美しい眺めが楽しみ、桜のアーチをくぐる、お花見もおすすすめスポット。

令和6年度 権原市運動普及推進員協議会作成

提案内容評価検討シート

no	14	学校名	檀原高校
提案	檀原市の交通安全対策について		
概要	<p>交通事故を減らすための道路構造、環境の改善。ドライバー一人一人の意識改革。</p> <p>1.北風（厳しさ）：事故の悲惨さを伝える活動や、違反者への厳罰化。</p> <p>2.太陽（楽しさ・報酬）：</p> <p>○太陽案1（愛着）：各幹線道路に「藤原宮跡コスモスロード」のような愛着のある名称を付け、ガードレールや標識などに装飾を施し、きれいで目立つ道路にする。</p> <p>○太陽案2（成果報酬）：成果報酬型アプリを開発し、各道路の無事故無違反状態の継続、または個々のドライバーの無事故無違反状態の維持に対しポイントを付与。周辺施設で利用できるようにすることで、交通安全と街の活性化を両立させます。</p>		
具体的に檀原市に実現してほしい内容 (小目標)	<p>・幹線道路に（市民公募等で）愛称を付け、道路に飾る</p> <p>・無事故無違反者への成果報酬型アプリ開発及び周辺施設での利用。</p>		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	建設管理課	
	提案評価	A	<p>A すぐ実現可能または実施中</p> <p>B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める</p> <p>C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる</p>
	評価の理由	本市では檀原市道路愛称選定要綱を令和4年5月6日に策定していますので市道の愛称をつけることは可能です。実績としては、藤原京から飛鳥駅までの道路を「まほろばロード」と愛称をつけています。（※参考別紙）	
	実現に向けた具体的な実施方針	檀原市道路愛称選定要綱に基づく道路であればいつでも愛称付与は可能です。檀原高校でもぜひ一度検討してみてください。	

No 14 別紙



提案内容評価検討シート

no	15	学校名	檀原高校
提案	檀原市の交通安全対策について		
概要	<p>交通事故を減らすための道路構造、環境の改善。ドライバー一人一人の意識改革。</p> <p>1.北風（厳しさ）：事故の悲惨さを伝える活動や、違反者への厳罰化。</p> <p>2.太陽（楽しさ・報酬）：</p> <p>○太陽案1（愛着）：各幹線道路に「藤原宮跡コスモスロード」のような愛着のある名称を付け、ガードレールや標識などに装飾を施し、きれいで目立つ道路にする。</p> <p>○太陽案2（成果報酬）：成果報酬型アプリを開発し、各道路の無事故無違反状態の継続、または個々のドライバーの無事故無違反状態の維持に対しポイントを付与。周辺施設で利用できるようにすることで、交通安全と街の活性化を両立させます。</p>		
具体的に檀原市に実現してほしい内容 (小目標)	<p>・幹線道路に（市民公募等で）愛称をつけ、道路に飾る</p> <p>・無事故無違反者への成果報酬型アプリ開発及び周辺施設での利用。</p>		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	都市計画課、人権政策課（事務局）	
	提案評価	C	<p>A すぐに実現可能または実施中</p> <p>B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める</p> <p>C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる</p>
	評価の理由	交通安全意識の向上と地域の商業施設等の活性化を同時に実現することができる素晴らしい提案です。インセンティブを与えることは推進の原動力となりますが、税金が使われる公共事業として行う場合はその効果と必要性を十分検証する必要があります。しかし、事業実施に当たり必要と思われる違反情報等のデータは檀原市では所管しておらず、市単独での実現は難しいのが現状です。	
	実現に向けた具体的な実施方針	奈良県警察では、無事故・無違反ドライバーに対して発行されるSDカード（安全運転者マーク）という制度があり、全国・県内の飲食店などで割引を受けることができます。この制度は今後、加盟店が増えることでサービスの幅が広がり、さらにはご提案のようなアプリ化、ポイント導入等へと進む可能性があります。そのためには利用する市民、そしてサービスを提供する側の両方が交通安全の重要性に気付き、交通安全促進への理解が深まらなければなりません。人々の意識によってまちは安全で快適になっていくものだと思います。そのため、檀原市としても普及促進や、各実施主体との連携を目指し、協議と検討を進めて参ります。	

提案内容評価検討シート

no	16	学校名	檀原学院高等学校
提案	<p>高校生の通学路からつなぐ“はじまりのまち”構想 ～飛鳥・藤原の歴史を日常に取り込み、檀原市の主要駅と高校をバスでつなぐ～</p>		
概要	<p>高校生の通学を支援する新路線バス「飛鳥まなび号」を導入。 ○既存の路線や停留所も活用しながら、停留所を歴史資源に沿って配置し、各学校へ行きやすいように作る。 ○バス車内に檀原の歴史などについて学べる「まなびパネル」を設置し、飛鳥の歴史などについて学べるようにする。通学時間という「移動」を「学び」の時間に変え、高校生が歴史に触れ、街を知り、未来を考えるきっかけとなる「走る教室」を目指す。 ○期待効果: 通学環境の改善だけでなく、通学中の歴史接触による郷土愛と学びの育成、地域資源の再発見による観光・教育の両面での活性化、若者の参画意識向上といった多岐にわたる効果が期待できる。</p>		
具体的に檀原市に実現してほしい内容 (小目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各学校へ向かう、新路線バスの設置 ・停留所を歴史資源に沿って配置 ・市バス車内で「まなびパネル」設置 		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	都市計画課	
	提案評価	C	<p>A すぐに実現可能または実施中</p> <p>B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める</p> <p>C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる</p>
	評価の理由	<p>・現状において、檀原学院高校、檀原高校近くを路線バスが運行していますが、バス通学の生徒は少なく、高校生のバス利用が見込めません。</p> <p>・バス路線の設置には車両代や人件費などの多額の費用がかかること、一定以上の利用が継続的に見込めないと路線を維持できないこと、運転手が不足していることなどから、新たに路線バスを設置することは難しいと考えています。</p>	
	実現に向けた具体的な実施方針	<p>・新たに路線バスを設置するのではなく、既存の路線バスの利用を促進するための取組みを進めていく必要があります。</p>	

提案内容評価検討シート

no	17	学校名	檀原学院高等学校
提案	<p>高校生の通学路からつなぐ“はじまりのまち”構想 ～飛鳥・藤原の歴史を日常に取り込み、檀原市の主要駅と高校をバスでつなぐ～</p>		
概要	<p>高校生の通学を支援する新路線バス「飛鳥まなび号」を導入。 ○既存の路線や停留所も活用しながら、停留所を歴史資源に沿って配置し、各学校へ行きやすいように作る。 ○バス車内に檀原の歴史などについて学べる「まなびパネル」を設置し、飛鳥の歴史などについて学べるようにする。通学時間という「移動」を「学び」の時間に変え、高校生が歴史に触れ、街を知り、未来を考えるきっかけとなる「走る教室」を目指す。 ○期待効果: 通学環境の改善だけでなく、通学中の歴史接触による郷土愛と学びの育成、地域資源の再発見による観光・教育の両面での活性化、若者の参画意識向上といった多岐にわたる効果が期待できる。</p>		
具体的に檀原市に実現してほしい内容 (小目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各学校へ向かう、新路線バスの設置 ・停留所を歴史資源に沿って配置 ・市バス車内で「まなびパネル」設置 		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	都市計画課	
	提案評価	A	<p>A すぐに実現可能または実施中</p> <p>B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める</p> <p>C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる</p>
	評価の理由	<p>・バスの停留所は利用が見込まれる場所に設置することが多く、現状でも歴史資源である藤原宮跡、新沢千塚古墳群、歴史に憩う博物館などの近くに停留所があります。</p>	
	実現に向けた具体的な実施方針	<p>・歴史資源の近くにバスの停留所が既にありますので、バスを利用して歴史資源を訪れる方を増やすための周知活動を進めていきます。</p>	

提案内容評価検討シート

no	18	学校名	檀原学院高等学校
提案	<p>高校生の通学路からつなぐ“はじまりのまち”構想 ～飛鳥・藤原の歴史を日常に取り込み、檀原市の主要駅と高校をバスでつなぐ～</p>		
概要	<p>高校生の通学を支援する新路線バス「飛鳥まなび号」を導入。 ○既存の路線や停留所も活用しながら、停留所を歴史資源に沿って配置し、各学校へ行きやすいように作る。 ○バス車内に檀原の歴史などについて学べる「まなびパネル」を設置し、飛鳥の歴史などについて学べるようにする。通学時間という「移動」を「学び」の時間に変え、高校生が歴史に触れ、街を知り、未来を考えるきっかけとなる「走る教室」を目指す。 ○期待効果: 通学環境の改善だけでなく、通学中の歴史接触による郷土愛と学びの育成、地域資源の再発見による観光・教育の両面での活性化、若者の参画意識向上といった多岐にわたる効果が期待できる。</p>		
具体的に檀原市に実現してほしい内容 (小目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各学校へ向かう、新路線バスの設置 ・停留所を歴史資源に沿って配置 ・市バス車内で「まなびパネル」設置 		
担当課 記載欄	事業担当課名 (上記から該当する内容に○)	都市計画課	
	提案評価	A	<p>A すぐに実現可能または実施中</p> <p>B 次回予算要求等に一部内容を盛り込める</p> <p>C 現状の提案内容では難しいが、提案の切り口によっては実現の可能性が高まる</p>
	評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・今年世界遺産登録されるかもしれない藤原宮跡には「かしはらしコミュニティバス」で行くことができます。その車両内にはデジタルサイネージや広告スペースがあり、必要に応じて檀原市の行政情報を発信しています。(※参考別紙) ・デジタルサイネージを活用して歴史を学ぶ情報を車内で発信することができます。 	
	実現に向けた具体的な実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス車内のデジタルサイネージを活用して、バス利用者の興味をひく資料、檀原市の歴史をPRできる情報の発信を検討します。発信する情報について、よければ一緒に考えてみませんか。 	